

一人の若い警官が撃たれた
ニューヨーク市警も彼の死を望んでいた!!



●愛する女も仲間も失い戦いつづける妥協を許さぬ青春像!

アルレ・リパシーノの

AL PACINO "SERPICO"

セルヒ

●ゴールデングローブ賞に輝く アル・パシーノ ■監督シドニー・ルメット パラマウント映画・CIC配給

アル・パシーノの

セルピコ

〈カラー作品〉

燃える男の正義と情熱が汚濁に満ちた
巨大な警察機構に挑戦する！



ALPACINO in SERPICO



パラマウント映画・CIC配給

監督
巨匠シドニー・ルメット
脚本
（二時間十分／テクニカラ／パラマウント
映画／CIC配給／ディノ・デ・ラウレンティス・フィルム）

物語

一九七一年二月、ニューヨーク市の
警官フランク・セルピコ（アル・パシーノ）が重傷を負つてグリーンボイン
病院にかよつぎこまれた。地区総監督
リーン（ジョン・ランドルフ）はさつそ
く彼の病室に二十四時間の警戒態勢を
しかせたが、同時に映画は、こんな事件
が起つた過程を、フラッシュバックで
克明に描いてゆく。

十一年前、セルピコは希望にもえて
警察学校を卒業した。だから八十二分
署に配属されたとき、どちらかといえ
ば知性の彼も、誇りで胸をときめか
せたものだつた。しかし勤務後、警察
官としての理想と現実のギャップは、
彼の内部で見るまで拡がつていつた。
潔癖なセルピコには、日常茶飯事とし
ておこなわれていた同僚たちの取締、
さりとて見ぬふり、暴行などが耐
えがたいものに感ぜられたのだ。
彼は向上心の満足とイキぬきをか
けつけた。

犯罪情報課勤務に変つてから、
セルピコは退職し傷い年金を受けスイスに住ん
でいる。しかし住所は誰れにも知らせていない。

▼スタッフ▲
制作監督
作
音楽
作
音
ディノ・デ・ラウレンティス・フィルム
ブレア
アーヴィング
ローリー
バーバラ・イーダ・ヤング
トニー・ロバーツ

▼スタッフ▲

解説

ねてニューヨーク大学へ勉強しに行くようになり、そ

一九七〇年四月二十五日、ニューヨーク・タ
イムズの第一面は「ニューヨーク市警の汚職數
百万ドルにおよぶ」の大見出しを掲げた。この
映画は、ニューヨーク市警察に根強くはびこつ
ていた腐敗、汚職にたつた一人、幾多の誘惑を
はねのけて敢然と挑戦した正義に燃える男、セ
ルピコの真実の記録である。

警官という職務以前に、人間として男として
ベストに生き抜く道は、これ以外にないと同僚
の汚職を告発するに至つたセルピコの信念と情
熱は観る者的心に強烈な印象を残してやまない。
セルピコには「コッドファーザー」「スケアク
ロウ」で今やハリウッドのトップ・スターの座
を確保したアル・パシーノ。本年度ゴーラーデン・
グローブ賞の最優秀主演男優賞を受賞している。

監督は「十二人の怒れる男たち」「丘」などとの
巨匠シドニー・ルメット。セルピコの苦悩と強
靭な精神力を、また警察機構と社会機構の矛盾
をクールな描写で入念に描いている。原作は「バ
ラキ」のビーター・マース。

ニューヨークで七三年十二月に公開され、以
来「スティング」と共に記録的な大ヒットを続
けている。

（二時間十分／テクニカラ／パラマウント
映画／CIC配給／ディノ・デ・ラウレンティ
ス・フィルム）

ここで会ったレズリー（コネリア・シャープ）とい
う女はジーンやサンダルを好んでは、情報報
業でも変人でいたので、レズリーはもちろん、彼女に警官だと紹
介された瞬きくりとする彼女の友人たちの間でも、
けつこう人気があつた。

情報報では彼だけが浮き上つた感じだし、上司とも
うまく行かなかつたので、セルピコは気むすかし屋の
くせに気の弱いマクレイン警部（ピフ・マクガイア）
に転任を頼んだ。結局二十一分署のパトロール警官に
なることになつたが、署長は歩くならローハイドを削
れといふ。しかしセルピコはおとり捜査をするときの
変装用にローハイドは必要だと抗弁、やつと削らずにすま
せることができた。ローハイドはなんとか助かつたものの、
彼はレズリーをうしなつた。突然、テキサスの男と結
婚すると彼女に宣言されたのだ。

配属された最初の日に、セルピコはワイロの分け前
を渡された。ブレアで公聴会に相談し、調査部に報告し
たが、部長はただ忘れてしまふと忠告するだけだつた。
マクレインや他の警察のお偉方は頼りにならず、結
局セルピコ自身が、公聴会に出席することになつた。
彼が尊敬するグリーン地区総監は励ましてくれたが、
肝心の公聴会そのものは、地方検事が訊問で問題の核
心を故意にさけて通つたため、いたずらに時間を空費
したはとどまつた。今や八分署に転任する事になつたが、
彼が前評判のために彼を相棒してくれたのはロンバード警視だけだつた。二人で調べてみると
このマンハッタン地区の収賄組織はブロンクス以
上に巧妙にできていた。すぐ事実を上司に報告したが、
二人はそこでも、再び厚い壁にぶつかつた。

ブレアやローハイドの応援で、ついに意を決したセ
ルピコがすべてをニューヨーク・タイムズにぶちまけ
た。当然、ニューヨークジャーナルが割れかえるような騒
ぎになつたのはいうまでもない。市長は特別調査委員
会（ナップ委員会）を任命し、警察の腐敗ぶりが糾弾さ
れることになつた。しかし決着がつく前に、セルピコ
はデラニー総監によって、市でももつとも危険なブル
ックリンの麻薬地帯に転勤を命じられた。そしてある
日、セルピコは麻薬犯逮捕に出动した彼は、
そこで重傷を負う目になつた。状況からみて、同僚
が助けようとするが助けられたのに、である。
のちにグリーンから、デラニー一派が辞職すること
になつたと聞かされても、セルピコの顔は晴れなかつ
た。どうせお部裁にすぎない。流れに石が投げられて、
いつとき水の輪が浮かんだにすぎないのだ。ではなぜ
命がけではんなことをしたのかとグリーンにきかれて、
セルピコは一瞬考え、静かに答えた——自分自身のた
めだけたのだと。

次回ロードショウ

日比谷映画 (591)
5353